

ナシ類の生育は、昨年より 7 日程度遅れている状況です（ほぼ平年並み）。毎年結実が不安定な南水等は、着果状況やサビ等をよく確認し、予備摘果等の管理作業に入ってください。

アブラムシ類の発生は少ない状況ですが、今後の急激な発生に注意してください。

土壌乾燥により、葉色が悪く、弱小葉が多い場合は、定期防除に苦土やマンガン成分を含む葉面散布資材を混用散布し健全葉の育成に努めてください。

■ 和梨の定期防除（収穫中の作物への飛散に注意する）

☆ 5 月下旬の薬剤散布（前回より 10 日後）

散布時期：5/25～30 頃（左記は目安です。）

散布薬剤

水	1 0 0 リットル
展着剤	2 0 ml
トレノックスフロアブル	2 0 0 ml（30 前日、5 回）
コルト顆粒水和剤	2 5 g（前日、3 回）

対象病害虫：黒斑病、黒星病、アブラムシ類、カイガラムシ類

散布量：10 a 当たり 350 リットル

◆ 散布日：5 月 日
◆ 散布量：リットル

☆ 6 月上旬の薬剤散布（前回から 15 日後）

散布時期：6/10～15 頃

散布薬剤

水	1 0 0 リットル
展着剤	2 0 ml
Ⓔ ダーズバン DF	3 3 g（30 日前、3 回）
アントラコール顆粒水和剤	2 0 0 g（45 日前、4 回）

対象病害虫：黒斑病、黒星病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ

散布量：10 a 当たり 400 リットル

散布日：6 月 日
散布量：リットル

次回特報 発行予定日：6 月 17 日

6 月下旬、7 月上旬薬剤散布について

◆ 西洋梨の定期防除は次ページをご覧ください。

西洋梨の定期防除（収穫中の作物への飛散に注意する）

梅雨入り前の輪紋病重要防除です。雨が続く前の予防散布に努めてください。昨年に続き、全域で腐らん病が早期多発傾向です。梅雨期間の感染拡大を予防するため、病斑部の削り取り処理等を早めに進めてください。

☆ 5月下旬の薬剤散布（前回より約15日後）

散布時期	5/25～30（左記は目安となります。）	◆ 散布日：5月 日
散布薬剤	水 1 0 0 ℓ 当り 展着剤 1 0 ml コルト顆粒水和剤 2 5 g（前日、3回） ジマンダイセン水和剤 2 0 0 g（30日前、5回）	◆ 散布量： リットル
対象病害虫	輪紋病、黒斑病、黒星病、アブラムシ類、カイガラムシ類	
散布量	10アール当り：400 リットル	

☆ 6月上旬の薬剤散布（前回から15日後）

散布時期	6/10～15 頃 （左記は目安となります）	散布日：6月 日
散布薬剤	水 1 0 0 ℓ 当り 展着剤 1 0 ml 劇 ダーズバンDF 3 3 g（30日前、3回） キノンドー顆粒水和剤 1 0 0 g（3日前、9回）	散布量： リットル
対象病害虫	輪紋病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ	
散布量	10a 当り 500 リットル	

次回特報 発行予定日：6月17日

6月下旬、7月上旬薬剤散布について



- ～ 注意事項 ～ **和梨・西洋梨共通** *必ずお読みください。
- ① 梅雨入り前の重要な時期となるので、死角がないように散布量は多めに設定する。また、葉やけ防止のため、涼しい時間帯に散布する。

② ダーズバンDFは、医薬用外劇物です。購入の際は、印鑑を持参してください。

③ カイガラムシ類対策：アプロードフロアブル1,000倍（30日前、2回）を加用する。（和梨・西洋梨）

④ カメムシ類対策：ダーズバンDFに代えてアルバリン顆粒水溶剤2,000倍（前日、3回）を使用する。（西洋梨）

⑤ 土壌乾燥等により葉色が悪い場合や弱小葉が多い場合は、苦土含有葉面散布資材のビックマグ1,000倍やグリーンデイズ1,000倍を今回から3回程度連続して加用する。